

2020年9月10日
一般財団法人アールビーズスポーツ財団

2020年度もマラソンのスタートラインをご用意します！

「Trial Marathon」シリーズが

札幌・モエレ沼公園大会を皮切りにスタート



市民参加型スポーツの普及を目的として、スポーツイベントの開催や主催者への情報提供、ボランティア育成・派遣などに取り組む、一般財団法人アールビーズスポーツ財団（事務局：東京都渋谷区、代表理事：山本正彦、以下、アールビーズスポーツ財団）は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、国内のみならず世界中のマラソン大会が軒並み開催中止となったことを受け、大会への出場機会を失ったランナーのために可能な限りの規模でフルマラソン・ハーフマラソンの大会を開催する「Trial Marathon」シリーズを企画。2020年8月29日（土）開催の札幌・モエレ沼大会（ハーフマラソン）を皮切りに同シリーズをスタートさせました。シリーズ初回となった札幌・モエレ沼大会には435人のランナーが参加し、400人が完走しました（優勝タイム：男子優勝 1時間14分30秒 阿部清孝さん／女子優勝 1時間27分42秒 沢田愛里さん）。

■「Trial Marathon」シリーズの特徴

1) 「全日本マラソンランキング」に記録を反映

大会別、都道府県別等でシーズン毎の国内フルマラソン完走者の動向をデータベース化する「全日本マラソンランキング」に、同シリーズ（フルマラソンの部）の完走記録を反映。「全日本マラソンランキング」のコンテンツのひとつであり、1年間の成果として楽しみにするランナーも多い男女別「フルマラソン1歳刻みランキング」にもランクインされます。

全日本マラソンランキングの詳細はこちら⇒ <https://runnet.jp/runtres/ranking/>

2) ランナーがレースに集中できる環境を保障します

2.5km 毎の給水所の設置、5km 毎の記録計測、事前の正しい距離計測に基づくコース（2.5km～5km の周回コース）を準備し、ランナーが安心して大会に参加でき、記録を目指す環境づくりをシリーズ全体で保障します。

3) シリーズ独自の新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施

①「密」対策として

- ・更衣室の廃止もしくは人数制限、時間指定完全入れ替え制の実施
- ・少人数ウェーブスタートの実施とネットタイム計測の導入

②感染防止のために

- ・対面スタッフ、給水所スタッフは「フェイスシールド」「マスク」「手袋」の完全装備
- ・給水所は未開栓ボトル渡し、もしくはフタ付き紙コップでの提供、フード関係は個装仕様に限定
- ・トイレをはじめ会場内の複数箇所に手指消毒液を配置

③感染者との濃厚接触の防止に

- ・会場入り口付近で参加者応援者ともに非接触体温計による検温を実施
- ・新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートを大会当日に提出依頼

■全国各地で「Trial Marathon」シリーズの開催が続々決定

「Trial Marathon」シリーズは 2020-21 年内に全国各地での開催が続々決定しています。2020 年 9 月時点では全国各地で約 30 大会の開催を予定。9 月 22 日には、フルマラソンではシリーズ初となる「札幌・豊平川トライアルマラソン」の開催を予定しています。その他の開催予定は下記をご参照ください。

「Trial Marathon」シリーズ公式サイト：<https://trial-marathon-series.com/>

■アールビーズスポーツ財団について

ランニングの普及・発展のための事業を数多く実施してきた「ランナーズグループ」によって 2010 年に設立された一般財団法人。走ろうにっぽんプロジェクト、ランナーズマイスター認定制度の運営など、社会貢献事業や公益性の高い事業を行っている。現在はランニングのみならず、自転車などを含む市民参加型スポーツイベントを支援。ランニング関連データの収集、主催者への情報提供などにも取り組んでいる。

- ・名称：一般財団法人アールビーズスポーツ財団
- ・設立：2010 年
- ・代表者：代表理事 山本正彦
- ・事業内容：ランナーズマイスター認定制度、MCC(マラソン・チャレンジカップ) の企画運営、市民参加型スポーツイベント支援など
- ・URL：<http://r-bies.or.jp>

【本件に関する報道関係者お問い合わせ先】

<アールビーズスポーツ財団 広報事務局> 担当：廣沢

株式会社アールビーズ 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-4-12 DT 外苑

TEL：03-5771-7909 Email：press@runners.co.jp